

- ・使用済み核燃料プール内の腐食
- ・浄化した汚染水の問題 容量 14 万 t のタンクが 3 月末までに満杯になるという問題
- ・メルトダウン（炉心溶融）した事故
- ・核分裂が連鎖的に起きる再臨界や再度の水素爆発の問題
- ・地震や津波の来襲の問題
- ・燃料の取り出し作業 これが最大の問題で、最も危険な作業

全ての作業の大きな障害となるのが高い放射線量、毎時 5,000 ミリシーベルトという高い場所もあります。これは 1 分間で作業員の年間被曝線量に達する値だそうです。

メルトダウン（炉心溶融）について、1 号～3 号機の燃料はいずれも原子炉圧力容器から外側の格納容器に落ちたという解析結果が出ています。特に問題の 1 号機では、溶け出した燃料が底のコンクリートを侵食し、格納容器の外殻に当たる鋼板まで 37 cm に迫っていたと推定されています。実際に内側がこういった状態になっているのか直接把握できていないのが現実で、不明な点も多くあります。

政府が発表した新しい工程表は、

①燃料貯蔵プールからの燃料取り出し

平成 25 年から開始。第 1 原発の先ず 4 号機から始め、平成 26 年に 3 号機、それ以降に 1 号機、2 号機へ行う

②原子炉からの燃料の取り出し

これが最大の作業で、その前に

④ 格納容器の補修工事

⑤ 原子炉を水で満たす「冠水」

⑥ 溶融燃料の回収

燃料そのものを扱うため、放射線量が高く、命に関わる作業でかつ 20～25 年後と気が遠くなる作業が延々と続くことになります。

これら一連のことは、日本の歴史上初のことであり、処理費用や補償費用は天文学的數字になると言われ、現在の日本の力を持ってして大変なことです。

『ステップ 2』の終了を受け、政府は年間放射線量を基準に住民避難区域を見直し、今春から解除の〔準備区域〕〔居住制限区域〕などに分類し、避難住民の帰宅をさせたい方針、かつ除染作業も今春から本格化させたいと発表しました。が、若い人達ほど「帰りたくない」、種々の問題 特に放射線物質への不安が増幅しており、「帰れない」と言われています。

福島第 1 原発に近い市町村の内、町が無人になっている所があり、現在丸ごと離れた町に移転し行政が行われているわけですが、若い人達が帰れないことは、町の復興・地域の再建にとってこれから大きな問題となります。

今日は 1 年を迎えた「東日本大震災」についてお話をさせていただき、会長挨拶を終わります。

幹事報告

熊倉 高志 幹事



「市内 4 R C 合同例会（講演会）」開催のご案内

今年度の標記会合では三条市担当職員より身近なテーマをもとにお話しいただきます。

下記要領にて開催致します。お忙しい中とは存じますが、多くの皆様のご出席をお願い申し上げます。

記

- 日 時 3月26日（月）12：30～14：00 ※30分程時間延長となります
- 会 場 ハミングプラザVIP グランドホール（ ☎ 35-1143 ）
- 講演内容 「認知症の正しい理解と対応の仕方」
＜講 師＞ 三条市 福祉保健部 担当職員

ご案内とお願い

- 11:45～食事の用意ができております。食事を済まされた方より順次隣室の講演会場にご移動願います。
- 出席取消の場合は、23日（金）16：00までにご連絡下さい。
無駄の出ませんようご協力お願い致します。
- ご都合悪くご欠席の場合は、他クラブへのメイクアップにて欠席補填をお願い致します。
なお、三条北RCが3月27日（火）を、三条RCが28日（水）を、三条東RCが29日（木）例会を本例会に振替えます。27日、28日、29日と各クラブ記帳ができますので欠席補填にお役立て下さい。

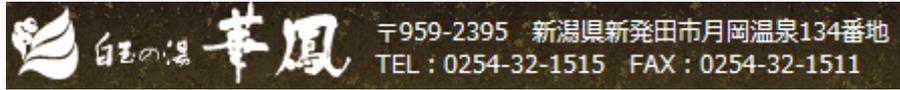


旬例会のご案内

今年度の「旬例会」は少し趣向を変え、ゆっくり、のんびり楽しんでいただきたいと土曜の午後出発と致しました。また、オランダからのGSEメンバーも同行、日本の文化と一緒に楽しんでいただき、会員皆様にも「和を持って国際交流・・・?!」と企画致しました。車窓からの麗かな春の風景、エメラルドグリーンのお湯、旬の料理、月岡芸妓の踊り・・・至福の一時をお過ごし下さい。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

と き 平成24年 4月7日(土) 午後2:30 三条市役所前 出発
 ※4月9日例会を振替えさせていただきます

ところ



会 費 5,000円
 キャンセル 4月6日(金)の正午までにご連絡下さい。それ以降会費ご負担いただきます

日程のご案内と耳寄りなお知らせ

- 午後2:30 出発 ⇒ 月岡温泉 3:30頃着 着後 5:00頃まで入浴及び散策等くつろぎタイム
 5:00 宴会 月岡芸妓の踊りをご堪能下さい 7:15 月岡温泉 ⇒ 三条着 8:15頃
- ご希望の方は宿泊の手配を致します。宿泊追加料金 @11,550(朝食、税、サ込)
 8日(日)も三条までのバスの用意がございます。 午前8:30 月岡温泉 ⇒ 三条着 9:30頃
 ※宿泊キャンセルの場合 4月3日以降、キャンセル料が発生致しますのでご了承ください

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

~3月5日 11,000円
 今年度累計 652,180円~

鈴木(囃)君 寒い日が続いていますが、今日は「啓蟄」。大地の温かさに誘われて、虫たちが這い出してくるといわれる日だそうです。

熊倉君 先週は、楽しい夜例会を親睦委員会の皆さん、ありがとうございました。個人的には皆様の気分を害したようでお詫び致します。

丸山(征)君 先週の熊倉さん、とてもチャームングでした??

赤塚君、石山君、大溪君、滝口君
 田中君、銅冶君、船久保君、渡邊(光)君
 BOXに協力致します。

Club Forum



クラブフォーラム

地区 GSE 委員 安達 裕 会員



第 2560 地区では、専門職務に携わる、若い人々の国際交流プログラム・研究グループ交換 (GSE Group Study Exchange) を3年ぶりに、国際ロータリー第 1550 地区 (オランダ) と行うことを決定し、昨年 4 月に当地区より 4 名の若い研修生を派遣、本年 3 月 25 日から 1 か月間オランダより受入れることとなりました。三条市への滞在も 4 月 4 日 (水) ~8 日 (日) 午前中までと確定し、受入れ準備を進めております。その滞在期間中、メンバーの皆様には何かとお世話になります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、GSEメンバーのホームステイ先として、女性 3 名を当クラブ田中悌司さんが、男性 2 名を三条北クラブ下村啓治さんがお引き受け下さいました。

また、親睦委員会のご配慮で、4月7日(土)開催の当クラブの「旬例会」へも同行させていただくこととなりました。皆様に心より感謝申し上げます。

※三条市滞在スケジュール及びGSEメンバープロフィールは、週報No. 26 をご参照下さい。

鈴木 囃彦 会長

報告事項

① 佐藤栄祐会員 退会の件

昨年 12 月に健康上及び諸般の事情により休会の申し出があり、理事会において承認されました。その旨皆様にご報告いたしましたが、今年に入り退会届が提出されました。何度も慰留を求めましたが、ご事情を受け 12

月末日にて退会と承認いたしましたことご報告申し上げます。

② 米山奨学生 世話クラブとカウンセラー引き受けの件

2012年、2560地区では新規19名、継続6名の米山奨学生を迎え、当クラブへも奨学生受入れの依頼がございました。次年度の会長、幹事、米山奨学委員長と検討の結果、受入を決定致しました。
なお、次年度幹事、丸山征夫さんがカウンセラーをお務め下さいます。

[米山奨学生紹介] 才布騰 道日吉 (ツァイプトン ドルジ) さん 1980年1月20日生 (31歳)

●2012年4月在籍課程 長岡技術科学大学 大学院工学研究科情報・制御工学専攻
博士課程 3年 (2013年3月31日修了)

●中国 青海省 出身

③ RI国際大会 (バンコク大会) 参加に伴う例会変更の件

5月3日～7日の国際大会参加旅行実施により、5月例会を下記のとおり変更させていただきます
当初予定 5月7日 通常例会 卓話 (星野健司会員担当) 14日 クラブ休会

変更 5月7日 クラブ休会 ↓ 14日通常例会 卓話 (星野健司会員担当)

ROTARY NEWS



国際ロータリー・ニュース : 2012年 2月27日

世界の有名建造物にライトアップ

107周年を迎えるロータリー創立記念日 (2月23日) の週、ポリオ撲滅のメッセージ「END POLIO NOW」が世界中の有名建造物に映し出されました。この盛大なイベントに、カラチ (パキスタン)、東京、メルボルン (オーストラリア)、サンファン (プエルトリコ) など、世界各地のロータリアンが参加しました。



ロンドン塔に映し出された

ポリオ撲滅のメッセージ



パキスタン、カラチのフレアホール



プエルトリコ、サンファン市庁舎



東京、六本木ヒルズ



フィンランド、トゥルク大聖堂



ギリシャ、ロードス島の海門

次週例会 3月19日 通常例会 卓話 長谷美津明会員

次々週例会 3月26日 4クラブ合同例会 (講演会) 12:30~14:00 於:VIP



表紙について

星野健司君 [1955 (昭和30)年6月21日生]

06月21日・この日何の日?

1951年のこの日、教育科学文化機関 (ユネスコ) と国際労働機関 (ILO) が日本の加盟を承認

06月21日・この日誕生は?

フランソワーズ・サガン

(1935年 仏:小説家『悲しみよ今日は』)

三条南ロータリークラブ週報

2012. 3. 5

No.2028 No.28